

令和8年4月28日 第2回定例会資料  
報告事項3

令和8年度徳島県公立高等学校入学学力検査  
集計結果について

徳島県教育委員会教育創生課

令和8年度

徳島県公立高等学校入学学力検査（育成型選抜）の成績結果の概要

本年度の徳島県公立高等学校入学学力検査（育成型選抜）は、検査Ⅰ（国語、社会、英語）、検査Ⅱ（数学、理科、英語）の2部構成とし、5教科について実施した。

配点は、各教科40点満点で、学力検査の総点は、200点満点である。

問題作成に当たっては、学習指導要領に示された範囲内での出題とし、中学校教育における平常の学習によって培われた力で解答できる問題となるように配慮した。また、学習指導要領に示されている各教科の目標・内容を踏まえて、基礎的・基本的な学力の定着の程度を中心にみることができるよう配慮するとともに、思考力を用いて解く問題も出題した。

5教科総合の平均点は、100点満点に換算して、51.0点であり、昨年度より2.8点低かった。なお、成績集計の結果は、別表のとおりである。

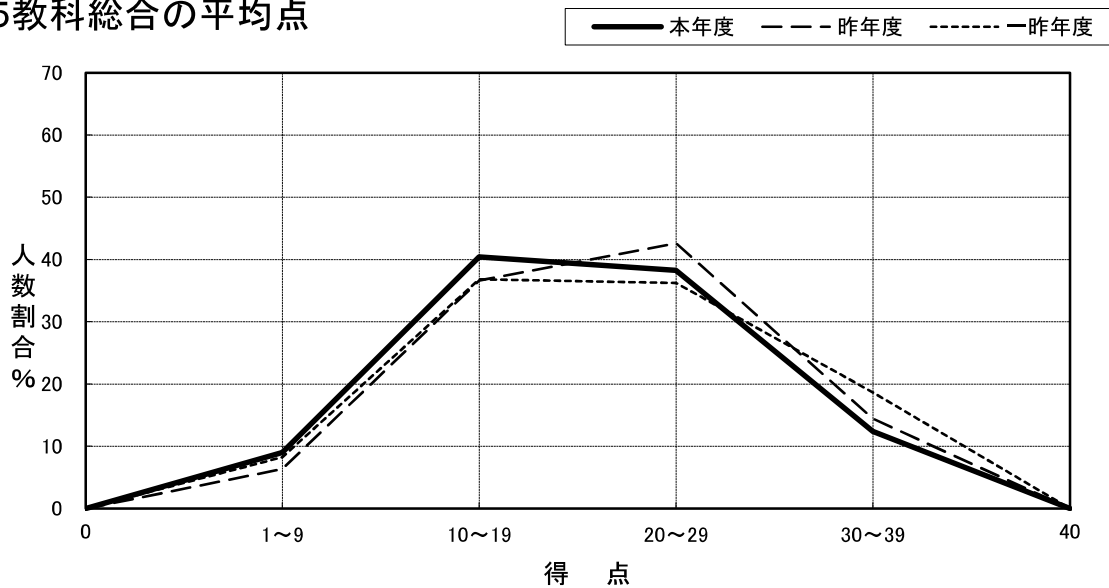
令和8年度  
徳島県公立高等学校入学学力検査(育成型選抜)成績表

受検者総数 735名

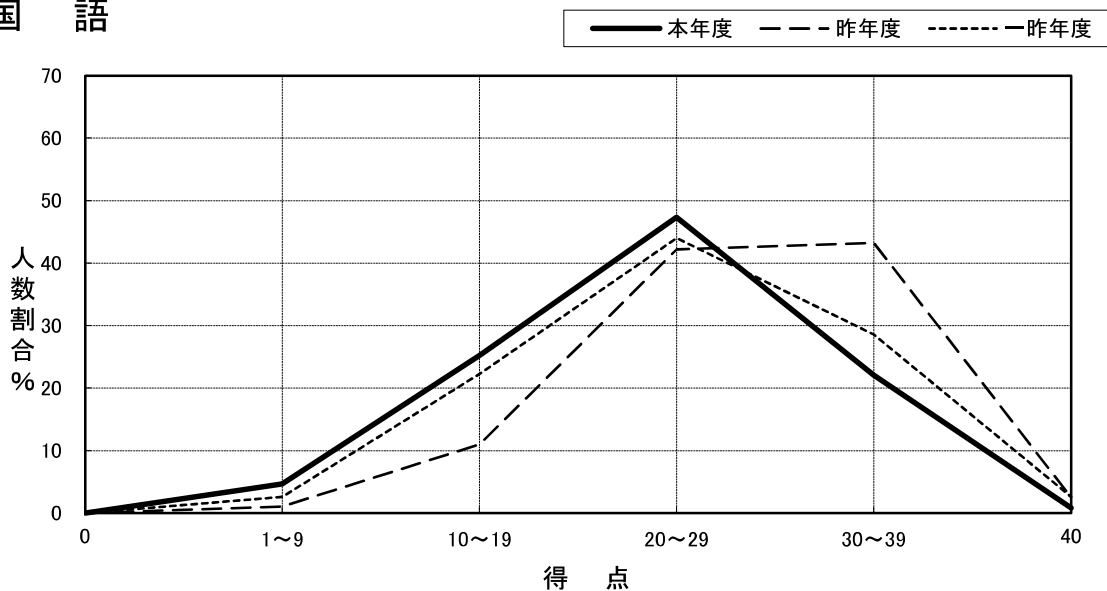
年度 教科	令和8年度			令和7 年度の 平均点 と比較	過去5 か年の 平均点 と比較	令和7年度		過去5 か年の 平均点
	平均点 (40点満点)	中央値	標準偏差			平均点 (40点満点)	標準偏差	
国語	23.4	24	7.8	- 4.7	- 1.9	28.1	7.9	25.3
数学	20.9	22	9.7	+ 4.1	- 0.1	16.8	10.9	21.0
社会	15.9	16	8.0	- 5.7	- 4.8	21.6	9.0	20.7
理科	22.2	23	7.4	+ 0.6	+ 1.8	21.6	9.7	20.4
英語	19.5	17	11.4	+ 0.1	- 0.7	19.4	11.4	20.2
5教科総合	20.4	20	7.5	- 1.1	- 1.1	21.5	8.3	21.5

年度 教科	平 均 点					令和8年度	
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
国語	25.2	24.9	23.5	25.0	28.1	23.4	58.5%
数学	24.4	19.1	24.1	20.8	16.8	20.9	52.3%
社会	24.3	19.9	16.7	21.2	21.6	15.9	39.8%
理科	20.3	19.0	22.2	18.8	21.6	22.2	55.5%
英語	17.2	20.1	22.9	21.3	19.4	19.5	48.8%
5教科総合	22.3	20.6	21.9	21.4	21.5	20.4	51.0%

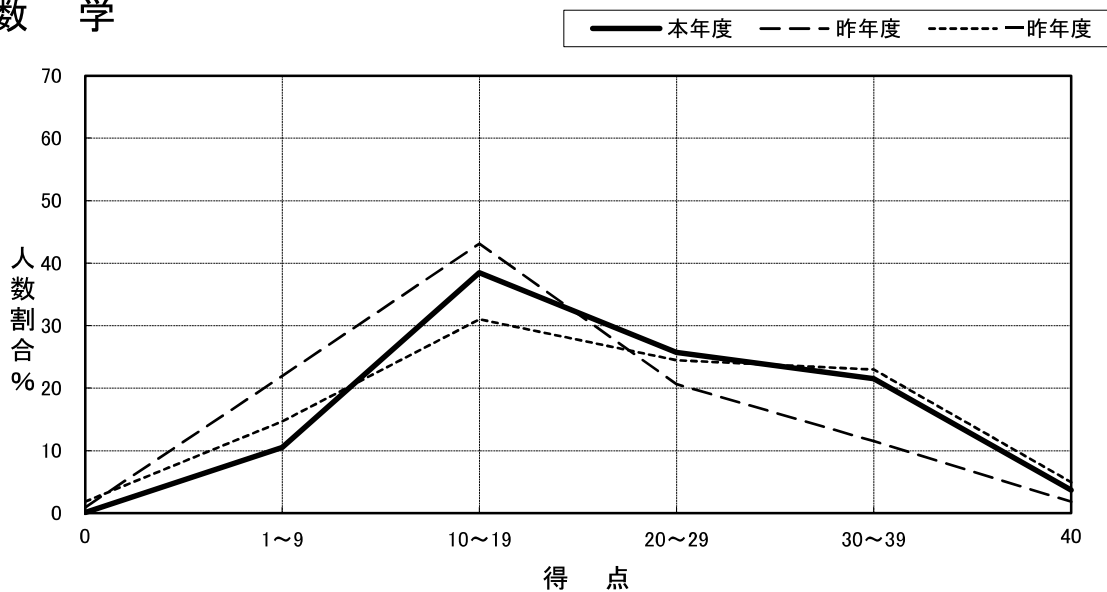
### 5教科総合の平均点



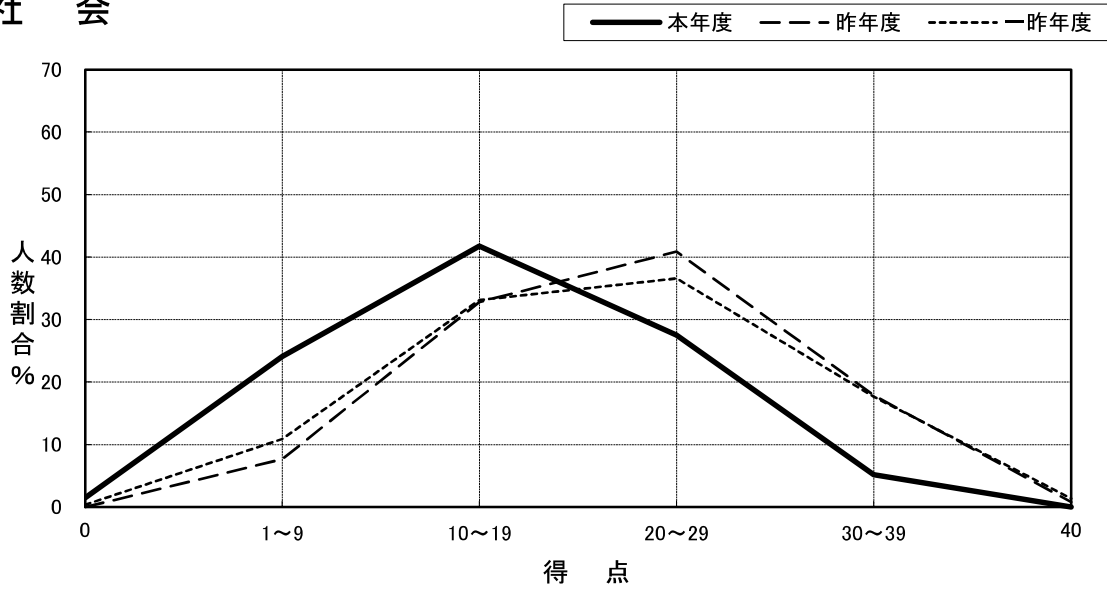
### 国語



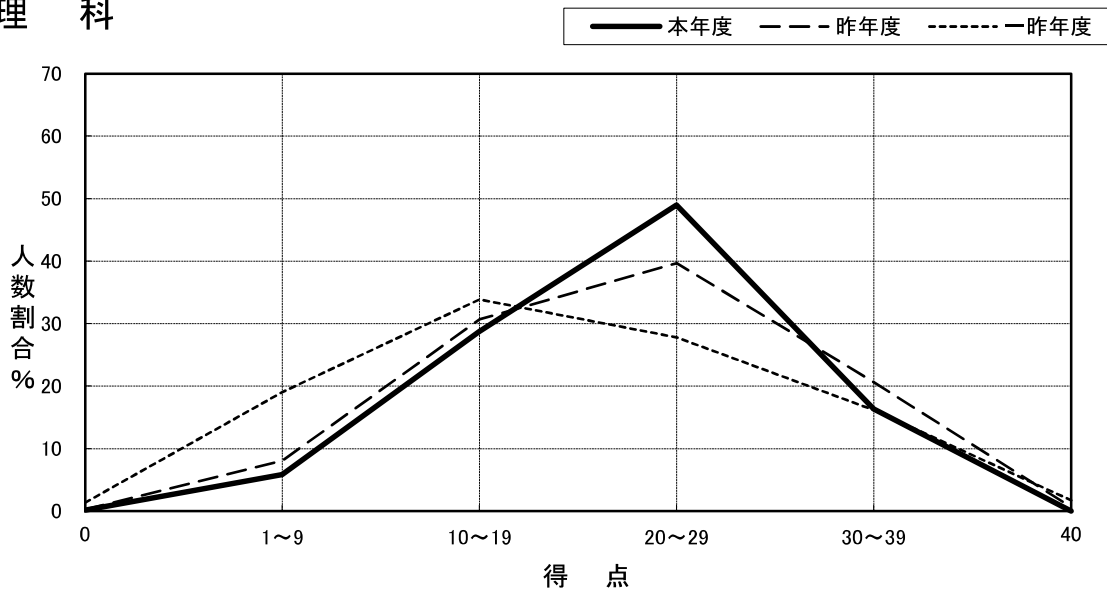
### 数学



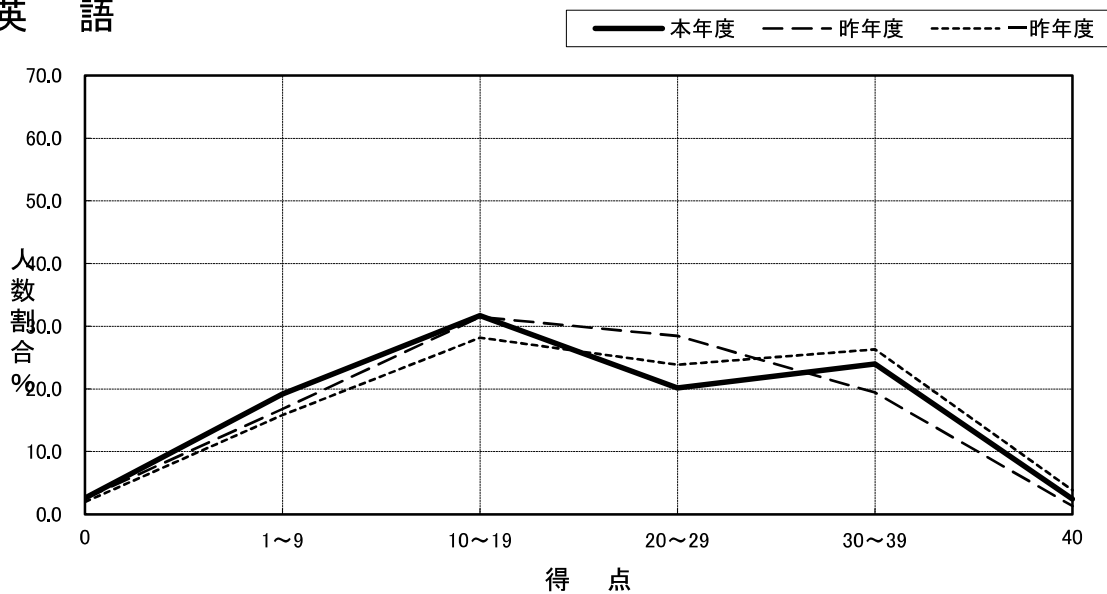
# 社 会



# 理 科



# 英 語



## 令和 8 年 度

### 徳島県公立高等学校入学学力検査の成績結果（一般選抜）の概要

本年度の徳島県公立高等学校入学学力検査（一般選抜）は、国語、数学、社会、理科、英語の 5 教科について実施した。

配点は、各教科 100 点満点で、学力検査の総点は、500 点満点である。

問題作成に当たっては、学習指導要領に示された範囲内での出題とし、中学校教育における平常の学習によって培われた力で解答できる問題となるように配慮した。また、学習指導要領に示されている各教科の目標・内容を踏まえて、基礎的・基本的な知識・技能の定着の程度や、思考力・判断力・表現力等をみることができる問題となるように配慮した。様々な思考過程により解答を導くことができる問題や多様な表現力をみる問題、日常生活に関連させた事項を題材とした問題、知識・技能を活用して課題を解決する問題により情報活用能力をみることができるように作成した。

5 教科総合の平均点は、100 点満点に換算して、51.5 点であり、昨年度より 2.6 点低く、過去 5 か年の平均点より 4.0 点低かった。なお、成績集計の結果は、別表のとおりである。

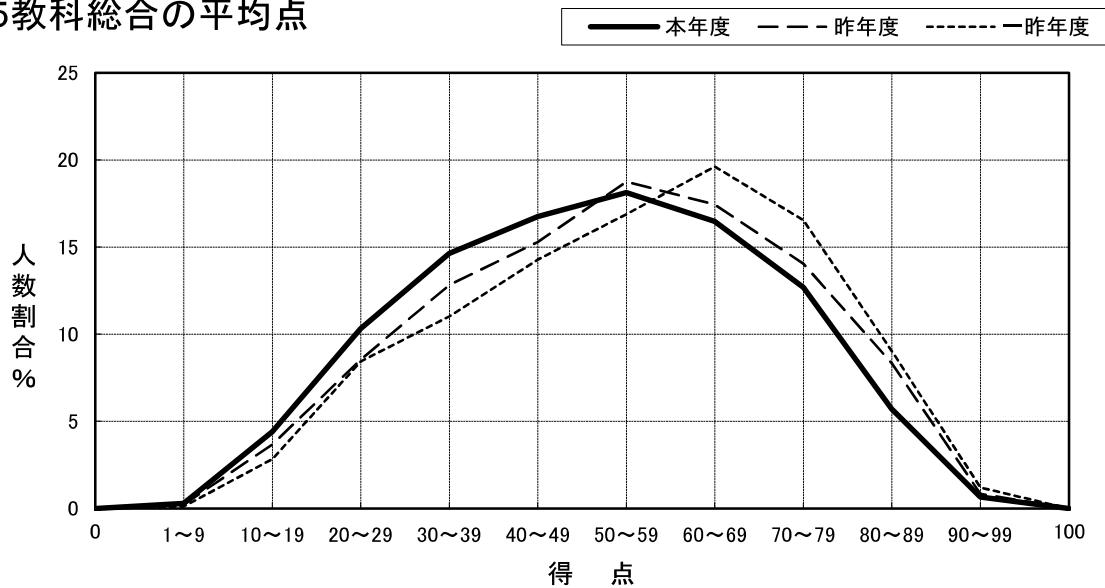
令和8年度  
徳島県公立高等学校入学学力検査(一般選抜)成績表

受検者総数 4247名

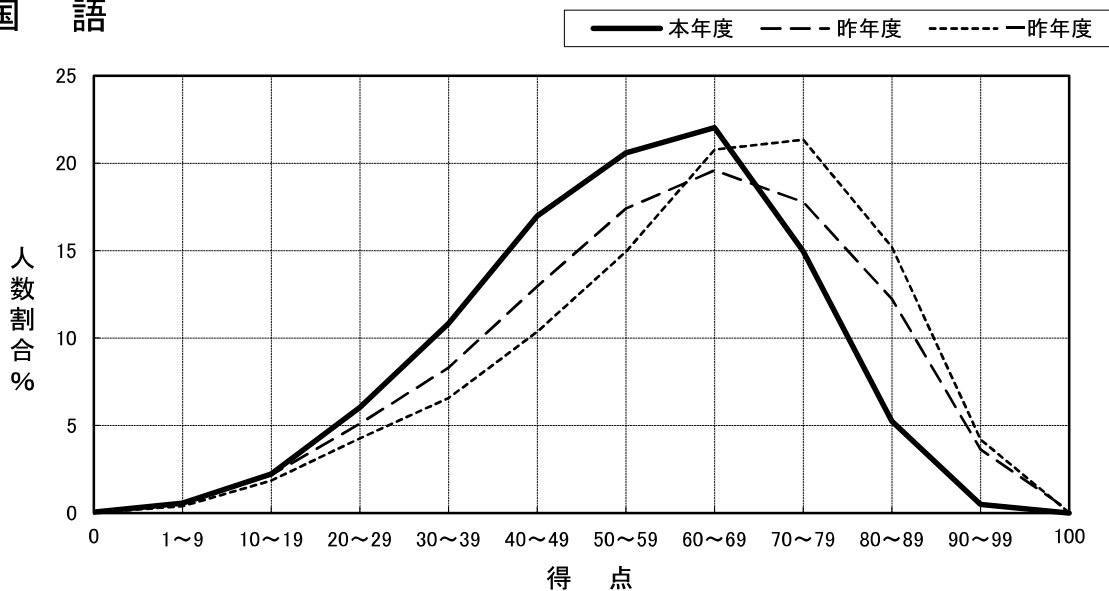
年度 教科	令和8年度			令和7 年度の 平均点 と比較	過去5 か年の 平均点 と比較	令和7年度		過去5 か年の 平均点
	平均点	中央値	標準偏差			平均点	標準偏差	
国語	54.6	56	17.1	- 4.9	- 6.7	59.5	18.8	61.3
数学	44.3	45	19.2	+ 3.4	0.0	40.9	19.6	44.3
社会	56.3	57	20.7	+ 1.6	- 2.7	54.7	22.3	59.0
理科	50.8	51	23.7	- 4.7	- 4.9	55.5	20.7	55.7
英語	51.1	50	23.4	- 8.7	- 5.8	59.8	23.5	56.9
5教科総合	51.5	51.8	18.8	- 2.6	- 4.0	54.1	18.9	55.5

年度 教科	平均点					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
国語	60.8	58.9	64.6	62.6	59.5	54.6
数学	46.9	42.9	46.0	44.8	40.9	44.3
社会	57.6	60.2	58.4	64.1	54.7	56.3
理科	58.0	55.2	60.1	49.9	55.5	50.8
英語	52.3	53.0	61.0	58.5	59.8	51.1
5教科総合	55.1	54.0	58.1	56.0	54.1	51.5

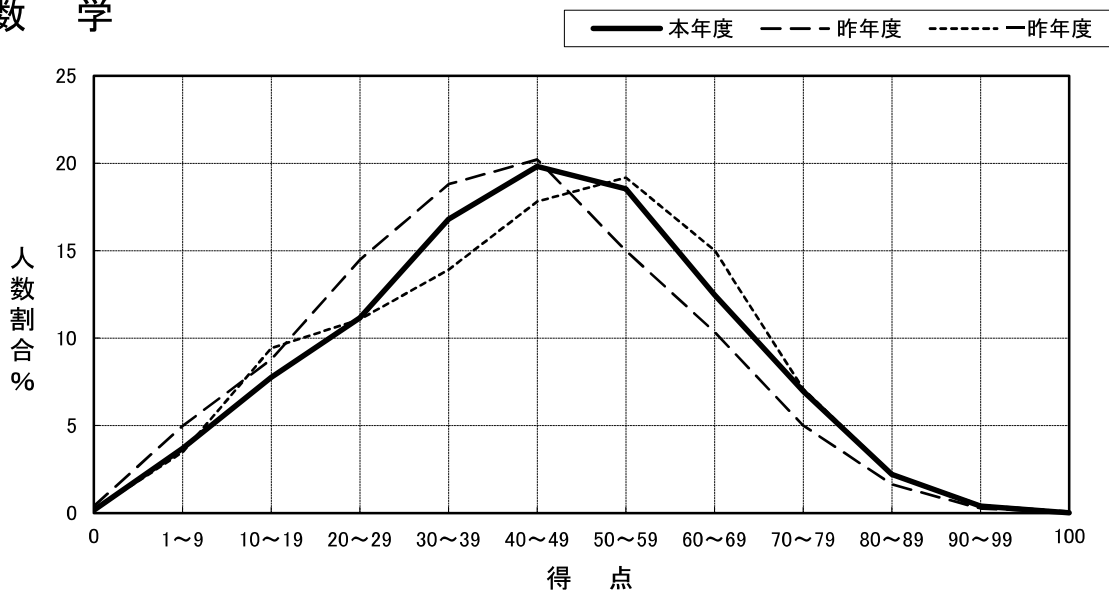
### 5教科総合の平均点



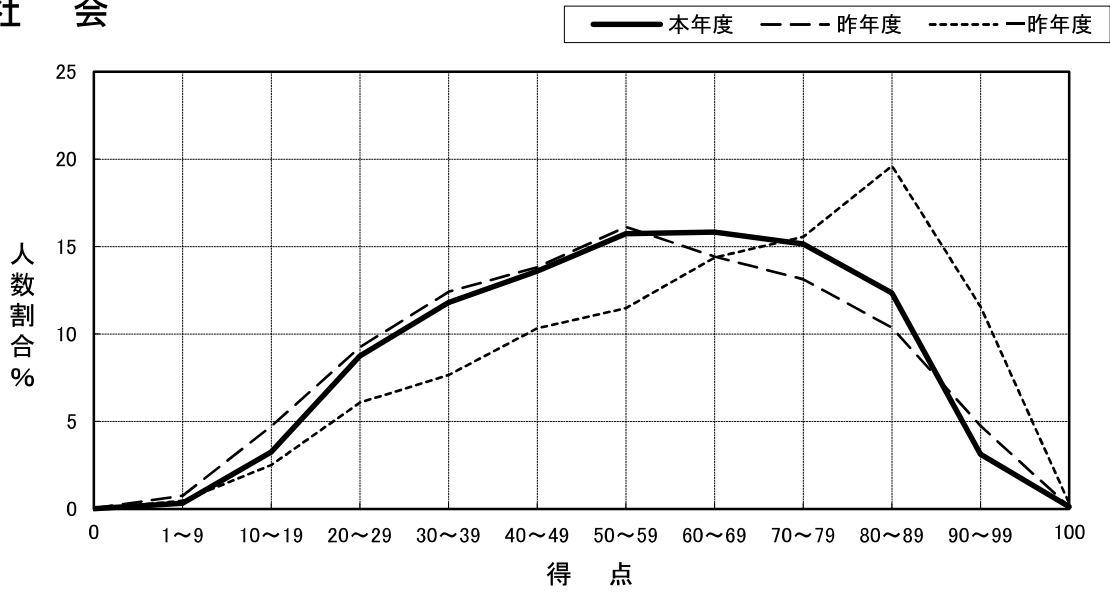
### 国語



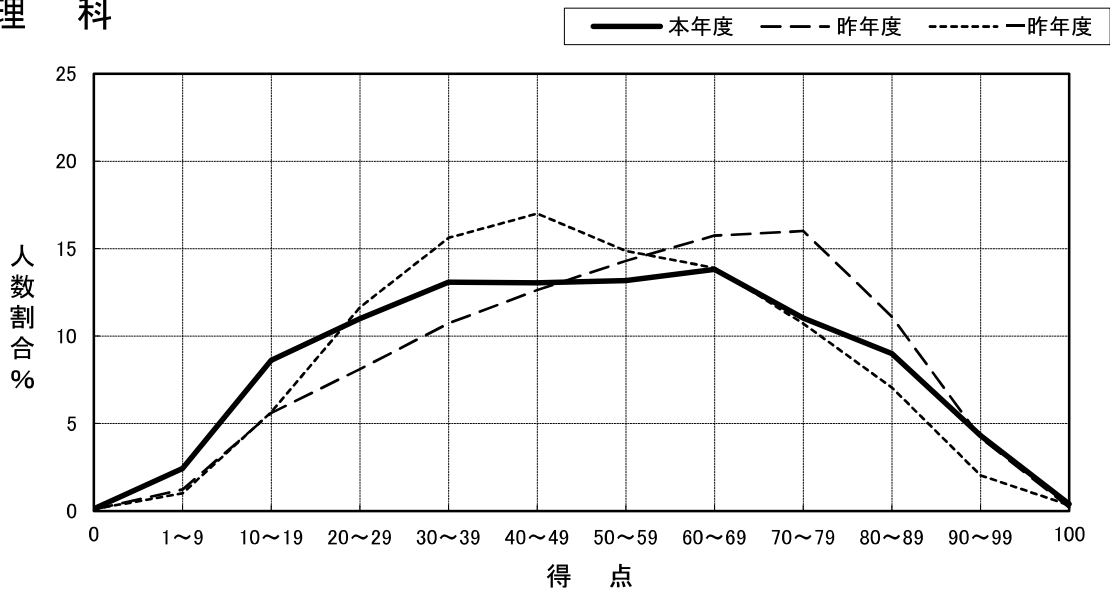
### 数学



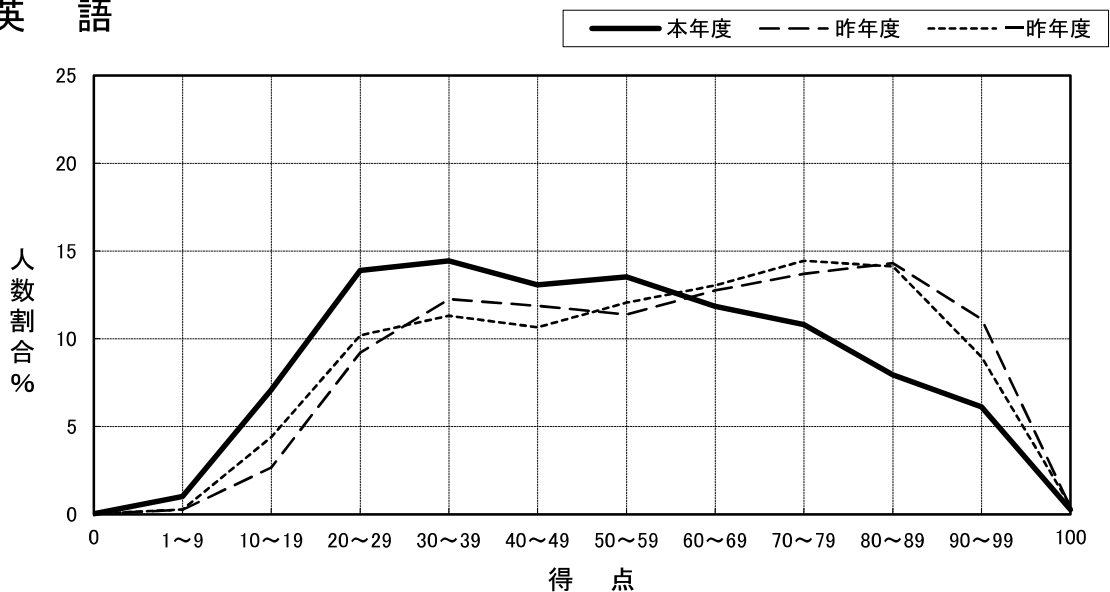
# 社 会



# 理 科



# 英 語



令和 8 年度 徳島県公立高等学校入学学力検査(育成型選抜)成績結果の概要

教科	成績結果の概要
国語	<p>平均点は 23.4 点（100 点換算 58.5 点）で、過去 5 か年の平均点に比べて 1.9 点低く、昨年度より 4.7 点低い点数であった。</p> <p>漢字の読み・書きはともに、概ね良好であった。一方、慣用句の問題や、古文における基礎的な知識や技能の定着をみる問題に課題がみられた。また、文章問題における本文の内容をまとめる問題で誤答が多かった。</p>
数学	<p>平均点は 20.9 点（100 点換算 52.3 点）で、過去 5 か年の平均点に比べて 0.1 点低く、昨年度より 4.1 点高い点数であった。</p> <p>基礎的・基本的な計算問題や角度を求める問題は、良好な結果であった。一方、与えられた情報を利用して、因数を求める問題や、図形の性質から三角形の面積を求める問題は、無解答が多く、正答率も低かった。</p>
社会	<p>平均点は 15.9 点（100 点換算 39.8 点）で、過去 5 か年の平均点に比べて 4.8 点低く、昨年度より 5.7 点低い点数であった。</p> <p>「三角州」や「足利義満」などの知識を再現する問題や、再現した知識を基に正答を選択する問題は良好な結果であった。一方、商品を輸出する日本企業と為替レートの関係、指定語句を用いて記述する問題や、太平洋戦争に関するできごとを起こった順に並び替える問題は誤答が多かった。また、世界の六つの州のうち、北アメリカ州、南アメリカ州、アフリカ州、ヨーロッパ州の各州の地域的特色を資料から読み取り、北アメリカ州を選択する問題は、無解答が多かった。</p>
理科	<p>平均点は 22.2 点（100 点換算 55.5 点）で、過去 5 か年の平均点に比べて 1.8 点高く、昨年度より 0.6 点高い点数であった。</p> <p>銀河系と形の似た天体を選択する問題、重力の大きさを求める問題等、基礎的・基本的な知識・技能の定着の程度をみる問題は良好な結果であった。台風の特徴で誤っているものを選ぶ問題、太陽が属する天体の集団の名称を書く問題、加熱をやめる前にガラス管を水から出す理由を説明する問題等、知識や技能が定着していないものもみられた。また、思考力を用いて解く問題のうち、化学反応式のモデルから生成する物質の質量を求める問題は誤答が多く、無解答も多い。</p>
英語	<p>平均点は 19.5 点（100 点換算 48.8 点）で、過去 5 か年の平均点に比べて 0.7 点低く、昨年度より 0.1 点高い点数であった。</p> <p>文脈から判断して空所に入る表現を選ぶ問題や基本的な語彙を問う問題、対話が成り立つように適切な応答文を選ぶ問題は良好な結果であった。一方、英語の質問に対する応答文を英語で書いたり、文章が自然な流れになるように適語を入れる記述問題では、誤答が多く、無解答も多い。</p>

令和 8 年度 徳島県公立高等学校入学学力検査(一般選抜)成績結果の概要

教科	成績結果の概要
国語	<p>平均点は 54.6 点で、過去 5 か年の平均点に比べて 6.7 点低く、昨年度より 4.9 点低い点数であった。</p> <p>漢字の読み、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題等の基礎的・基本的な知識や技能の定着の程度をみる問題や、話し合いにおける司会の役割についての問題は、概ね良好な結果であった。一方、ふさわしい言葉を条件に沿ってまとめる問題、複数の資料をもとに情報を整理してまとめる問題等、思考力や表現力を必要とする問題においては誤答や無解答が多かった。</p>
数学	<p>平均点は 44.3 点で、過去 5 か年の平均点に等しく、昨年度より 3.4 点高い点数であった。</p> <p>「数と式」、「データの活用」の各学習内容の基礎的・基本的な知識や技能の定着の程度をみる問題は概ね良好な結果であった。一方、関数と図形の融合問題では、領域を横断して基礎的な内容を組み合わせて、条件を満たす直線の傾きを求める問題において、誤答や無解答が多かった。日常生活における事象を数学に関連付け、会話文を正確に読み取り、2 つの図形の面積の差を求める問題は誤答が多かった。</p>
社会	<p>平均点は 56.3 点で、過去 5 か年の平均点に比べて 2.7 点低く、昨年度より 1.6 点高い点数であった。</p> <p>海岸線から 200 海里以内の範囲やわび茶を大成した人物の名称など、知識を再現する問題やモンゴルの遊牧民の住居の特色を指定語句を用いて論述する問題は良好な結果であった。一方、スウェーデンの人口ピラミッドを正確に読み取り、正答を選ぶ問題や、天皇が行う国事行為のうち、誤っているものを選ぶ問題は誤答が多かった。また、太平洋戦争の開戦にいたった背景について、複数の資料を読み取り、読み取った情報を関連付けて考察し、その結果を記述する問題や、鎌倉幕府が六波羅探題を設置した理由を、指定語句を用いて記述する問題は無解答が多かった。</p>
理科	<p>平均点は 50.8 点で、過去 5 か年の平均点に比べて 4.9 点低く、昨年度より 4.7 点低い点数であった。</p> <p>窒素の特徴、フックの法則、中和、電力から回路に流れる電流を求める問題など、基礎的・基本的な知識・技能の定着の程度をみる問題については良好な結果であった。一方、孫やひ孫に現れる形質の割合を求める問題、実験結果から電気抵抗を求める問題、緯度が異なる地点で実験を行った場合の結果を予測する問題など、説明や実験の内容を理解して考察し、計算する問題は誤答が多かった。</p>
英語	<p>平均点は 51.1 点で、過去 5 か年の平均点に比べて 5.8 点低く、昨年度より 8.7 点低い点数であった。</p> <p>全体を通して選択問題は無解答がほとんどなかった。短い英語や対話を聞いて答えを選んだり、必要な情報を聞き取ったりするリスニング問題は良好な結果であった。また、英語の基礎的な力をみる問題においても良好な結果であった。一方、対話や文章が自然な流れになるように、適切な語や英文を書く問題や、文脈に応じた語句を本文から抜き出すような記述形式の問題は誤答が多く、無解答率も高かった。</p>

# 徳島県公立高等学校普通科の通学区域制見直しに伴う入学者選抜結果の概要

## 1 令和8年度入学者選抜における通学区域制

学区外からの合格者数の上限を定める流入率を、次のとおり変更した。

学区	変更前（令和3年度～令和7年度）	変更後（令和8年度～）
第1学区（県南部）	20%以内 →	22%以内
第2学区（県北部～県西部）	12%以内 →	14%以内
第3学区（徳島市内） 「城南高校、城北高校、徳島北高校」	12%以内 →	14%以内
「徳島市立高校」	8%以内 →	8%以内（維持）

### 【参考】令和3年度入学者選抜における変更点

- (1) 第3学区（徳島市内）において、
  - ・ 城東高等学校について、募集定員の12%以内であった流入率を廃止し、通学区域を全県一区とした。（城ノ内高等学校は募集停止）
  - ・ 城南、城北及び徳島北高等学校について、募集定員の10%以内であった流入率を12%以内に引き上げた。
  - ・ 徳島市立高等学校については、所管する徳島市教育委員会の意向を踏まえ、募集定員の8%以内の流入率を維持した。
- (2) 第1学区（県南部）において、学区内総募集定員の15%であった流入率を20%以内に引き上げた。
- (3) 第2学区（県北部～県西部）において、学区内総募集定員の10%であった流入率を12%以内に引き上げた。

## 2 結果の概要（一般選抜）

※城東高等学校を全県一区とした令和3年度入試前の3年間と直近3年間の平均比較

(1) 	通学区域外から第3学区の普通科（城南・城北・徳島北・徳島市立）に合格した生徒数	平成30年度から令和2年度まで <b>68.3人</b>	→	令和6年度から令和8年度まで <b>94.3人</b>
(2) 	徳島市内の公立中学校から徳島市外の普通科に合格した生徒数	平成30年度から令和2年度まで <b>80.3人</b>	→	令和6年度から令和8年度まで <b>83.7人</b>
(3) 	第3学区普通科（城南・城北・徳島北・徳島市立）における各学校の学区内外別合格最低点の差の平均点	平成30年度から令和2年度まで <b>103.7点</b>	→	令和6年度から令和8年度まで <b>70.3点</b>

# 各教科の大問別解答状況の概要と授業改善の視点

国語	<p><b>【成績結果の概要】</b></p> <p>一 漢字の読み・書き等、基礎的な知識に関する問題は、概ね良好であった。</p> <p>二 文学的な文章の読解に関する問題については、本文の説明として適切でないものを選ぶ問題の正答率が高く、本文の内容を踏まえてふさわしい言葉を条件に沿ってまとめる問題等、記述する問題では正答率が低かった。</p> <p>三 古典については、基礎的な知識に関する問題は良好である。空欄にふさわしい言葉を本文中から抜き出す問題については、正答率が高かったが、内容を理解して条件に沿って書く問題については、正答率が低かった。</p> <p>四 複数の資料をもとに説明的な文章を読解する問題については、引用についての問題や、話し合いにおける役割を問う問題の正答率は比較的高い。一方で、空欄にふさわしい言葉を条件に沿って書く問題の正答率は低かった。</p> <p>資料をもとに作文を書く問題については、昨年度と比べて正答率は高かった。</p>	<p><b>【授業改善の視点】</b></p> <p>一 漢字の読み・書き、文法等の基礎的な知識は、日常の言語生活と結びつけた学習により定着を図ることが必要である。</p> <p>二 登場人物の言動の意味などについて読み、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などに着目して読み、描写をもとに捉える力の育成が必要である。</p> <p>三 古典に親しむ機会を多くもたせるとともに、古典に表れたものの見方や考え方に触れて、登場人物や作者の思いなどを想像する力の育成が望まれる。</p> <p>四 筆者の主張を読み取る力や、複数の資料をもとに情報を整理して理解を深め、記述する力の育成が必要である。言語活動を通して、思考力・判断力・表現力を育むことがなご一層望まれる。</p> <p>資料を読んで、情報を整理したり関連付けたりしながら、自分の考えをまとめる機会を多くもたせることが必要である。</p>
数学	<p><b>【成績結果の概要】</b></p> <p>「数と式」「関数」の基礎的・基本的な知識や技能の定着の程度をみる問題は概ね良好な結果であった。</p> <p>1 yの変域から、xの変域として考えられる整数の組み合わせを求める問題の正答率が低かった。</p> <p>2 データを追加したときに、必ず変化する値を選ぶ問題は誤答が多かった。</p> <p>3 条件を満たす直線の傾きを求める問題は誤答や無解答が多かった。</p> <p>4 三角形の相似を証明する問題は無回答が多かった。与えられた立体について垂線の長さを求める問題は誤答や無解答が多かった。</p> <p>5 日常生活における事象を題材として数学に関連付けた問題であったが、会話文から必要な情報を読み取り、2つの図形について面積の差を求める問題は誤答や無解答が多かった。</p>	<p><b>【授業改善の視点】</b></p> <p>1 基礎的な内容に関する本質的な理解や思考力を育成する必要がある。</p> <p>2 与えられた表などを基に、必要な値を求めたり、数学的に処理したりする力を育成する指導が必要である。また、用語や概念を正確に理解させる必要がある。</p> <p>3 領域を横断した基礎的・基本的な内容を組み合わせ、問題を解決する思考力の育成が必要である。</p> <p>4 問題文から状況を読み取り、見取り図を利用して空間図形の位置関係を把握し、数学的に処理することができるような思考力・判断力・表現力を育成する必要がある。</p> <p>5 問題文を正確に読み取り、必要な情報や数量の関係を見だし、数学的に処理することができるような思考力・判断力・表現力を育成する必要がある。また、全国学力調査やステップアップテストなどを活用し、日常生活と関連した数学の問題などを通し、数学に対する興味・関心を一層高めることも大切である。</p>
社会	<p><b>【成績結果の概要】</b></p> <p>1～5 海岸線から200海里以内の範囲やわび茶を大成した人物の名称など、知識を再現する問題やモンゴル民の遊牧民の住居の特色を指定語句を用いて論述する問題は良好な結果であった。一方、スウェーデンの人口ピラミッドを正確に読み取り、正答を選ぶ問題や、天皇が行う国事行為のうち、誤っている国事行為を選ぶ問題は誤答が多かった。また、太平洋戦争の開戦にいたった背景について、複数の資料を読み取り、読み取った情報を関連付けて考察した結果を記述する問題や、鎌倉幕府が六波羅探題を設置した理由を、指定語句を用いて記述する問題は無解答が多かった。</p> <p>6 「持続可能な社会の実現に向けて解決すべき課題についてテーマを設定し、考察したことを、クラスで発表すること」をテーマとする学習に関わる総合問題においては、農産物にラベルが表示されることによる消費者にとっての利点を記述する問題や古代文明の特色を基に、文明の名称を書く問題は良好な結果となった。一方、食料自給率について、複数の資料を読み取り、読み取った情報を関連付けて正答を選択する問題は正答率がやや低かった。また、企業が、さまざまな活動を通して取り組んでいる、社会への積極的な貢献の名称を漢字で書く問題は無解答率が高かった。</p>	<p><b>【授業改善の視点】</b></p> <p>1～5 基礎的・基本的な知識の習得が不十分な生徒に対しては、教科書の重要語句をしっかりと理解させることが必要である。また、社会的事象について多面的・多角的に考え表現する力や、資料から情報を正確に読み取り考察し、考察した結果を表現する力など、様々な角度から思考力・判断力・表現力等の育成を図ることが重要である。そのためにも、資料の読み取り、思考、判断、表現の過程を重視した授業づくりが求められる。</p> <p>6 各分野で学習した成果を関連付け、よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察、構想し、その結果を表現できる総合的な力の育成を図ることが重要である。そのためにも、日頃から、現代社会の諸課題に関連する新聞などの資料を適切に活用したり、単元など内容や時間のまとまりの中で習得した知識及び技能を活用できるよう、各分野の既習の知識を相互に関連付けて考察し、課題を解決する学習指導を計画的・系統的に展開したりする必要がある。</p>
理科	<p><b>【成績結果の概要】</b></p> <p>1 基礎的・基本的な内容に関する問題の正答率が高いものが多かった。</p> <p>2 中和を問う問題、pHの大小関係を考える問題の正答率が高かったが、中和反応によって生じた沈殿の化学式を書く問題、こまごめペットの操作についての問題の正答率はやや低かった。</p> <p>3 遺伝のしくみの基本的な問題の正答率は高かったが、ひ孫に現れる形質の割合を求める問題の正答率は低かった。</p> <p>4 電流の値を選ぶ問題の正答率が高かったが、発熱量を求める問題の正答率はやや低く、新たなヒーターに用いた電気抵抗を求める問題の正答率は低かった。</p> <p>5 透明半球の使い方や太陽の南中する時刻を求める問題は正答率が高かったが、緯度の異なる地点で実験を行った結果を考察する問題は正答率が低かった。</p>	<p><b>【授業改善の視点】</b></p> <p>1 観察・実験を通じて、基礎的・基本的な内容を、生活に結びつけた知識・技能として定着させることが大切である。</p> <p>2 基本的な内容を深く理解させるとともに、実験の目的や操作の意図を考えられるようにすることが大切である。</p> <p>3 実験から得られた結果を分析・解釈して、課題を解決する活動を行うことが大切である。</p> <p>4 実験の目的や意味を理解させううえで、何を明らかにするのかを意識させながら実験を行うこと、また、結果を量的・関係的な視点で捉えさせることが大切である。</p> <p>5 条件による実験結果の違いを考察し、理由を説明する活動を継続することが大切である。</p>
英語	<p><b>【成績結果の概要】</b></p> <p>1～3 選択問題は全般的に良好な結果であったが、まとまった分量の英語を聞いてその要点を捉える問題の正答率が低く、無解答もみられた。</p> <p>4 全般的に良好な結果であった。</p> <p>5 文脈から判断し、登場人物の会話が自然なやり取りになるように、英文を完成させる問題では、正答率が低く、無解答が多かった。</p> <p>6 文章の概要を読み取る問題の正答率が低かった。質問に対する答えになるように、自分の意見等を書く自由英作文の問題では多様な意見がみられた一方、無解答が多かった。</p> <p>7 登場人物に関する説明を正しく読み取り、適切な選択肢を選ぶ問題の正答率が高かった。一方、本文の内容を踏まえて適切な語句を抜き出す問題においては正答率は低く、無解答が多かった。</p>	<p><b>【授業改善の視点】</b></p> <p>1～3 日常的な話題や社会的な話題に関する対話や説明など、まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を捉える力を育成する言語活動を取り入れることが望まれる。</p> <p>4 日常的な話題について、対話の流れを捉えるとともに、自分の考えや気持ちを適切に表現する力を育てる言語活動の工夫が望まれる。</p> <p>5 相手からの質問に対し、その場で適切に回答したり、関連する質問をしたりして、会話を継続する言語活動を行う必要がある。</p> <p>6 まとまりのある英文を読んで、概要を読み取る言語活動を取り入れることが望まれる。</p> <p>7 まとまりのある初見の英文を最初から最後まで通して読む機会をできるだけたくさん設けるとともに、話の概要を捉えたり、書き手が伝えようとしている要点を把握したりする力を育成する指導が求められる。</p>